

## 兵庫県のチビゴミムシ

森 正人<sup>1)</sup>

### はじめに

兵庫県に分布するチビゴミムシ亜科の種類を整理しておきたい。県内にはホソチビゴミムシ属, ケムネチビゴミムシ属, チビゴミムシ属, ナガチビゴミムシ属, アトスジチビゴミムシ属, フタボシチビゴミムシ属, コノメクラチビゴミムシ属の7属が分布しているが, 地中に生息し複眼・後翅が退化したナガチビゴミムシ属(いわゆるメクラチビゴミムシ類)に, 特に多くの種類が知られている。

県内で最初のメクラチビゴミムシ類は, 南光町(現在の佐用町) 瑠璃寺から上野俊一先生が1969年に新種記載したフジタメクラチビゴミムシで, その後上野先生は2000年までの間に県内各地から11種もの新種を記載された。それ以降は芦田久さんを中心とする関西チビゴミ研究グループ(KTRG)のメンバーの活躍により, 2002~2007年の短期間に14種もの新種が県内から追加記載され, 県内分布の様子がかなりよくわかるようになった。メクラチビゴミムシ類の分布状況がこれほど詳しく調査・把握された地域は他に例がないが, まだ未調査の地域や未検討の標本が多く存在しており, 今後の調査に資するためにも, 現時点での生息種と課題を整理しておく必要がある。

掲載記録は種ごとに文献記録と標本記録に分け, 文献記録については記載された県内の記録地名と出典情報を明記した。標本記録については, 筆者の手許にある県内標本のなかから, 原則1産地1例とし, 採集頭数・採集地・採集データを明記した。採集者については, 筆者以外のものは採集者を明記し, 筆者採集のものはこれを省略した。生息環境や生態情報, 全国分布, 基産地などについても知り得た範囲で記述した。種名末尾の「チビゴミムシ」はしばしば省略する。

### 各種解説

#### ホソチビゴミムシ属 Genus *Perileptus*

日本では5種1亜種が知られており, 県内にはこのうち4種が分布している。おもに平地の河川や河口域の水際に生息しているが, 一部は山地溪流の水際で見られる。活動はきわめて活発で, 飛翔能力にもすぐれ, 灯火にもよく飛来する。

#### 1. ウミホソチビゴミムシ *Perileptus morimotoi* S. Ueno, 1955

【文献記録】夢前川, 加古川, 揖保川, 千種川 [森正人, 2010].

【標本記録】27exs, 姫路市夢前川下流, 15-VIII-2009; 25exs, 加古川市加古川下流, 3-X-2009; 15exs, 御津町揖保川下流, 10-X-2009; 4exs, 赤穂市千種川下流, 30-VIII-2009.

汽水域種で満潮時には水底に潜み, 潮が引くとともに干潟表面で活動する。模式産地は高知県仁淀川河口で, 本州・四国・九州から奄美大島までの主として太平洋に面した河口干潮域で点々と記録されている。兵庫県では森(2010)が県内主要4河川から初めて記録した。近畿地方では和歌山県と三重県で記録されているが, まだ調査が不十分である。環境省や複数の自治体のレッドデータ関連リストに掲載されているが, これは本種の生息環境である河口部干潟の減少や環境悪化に起因している。本種は本属のなかでは最も小型でより黒っぽいことで, 区別は容易である。冬期間は活動を停止している。

#### 2. ホソチビゴミムシ *Perileptus japonicus* Bates, 1873

【文献記録】篠山町 [岸田・辻, 1975]; 川西市大和 [仲田, 1978]; 宝塚市玉瀬 [宝塚市, 1993]; 加美町鳥羽 [兵昆, 2001]; 伊丹市軍行橋, 川西市西多田(猪名川), 芦屋市(芦屋川) [初宿, 2012].

【標本記録】8exs, 丹波市青垣町(加古川), 2-X-2010; 3exs, 篠山市鏑市ダム, 31-VIII-2003; 10exs, 西宮市武田尾(武庫川), 20-IX-2010; 2exs, 神戸市道場(武庫川), 3-V-2000; 2exs, 三木市シブレ山, 21-VI-2003; 5exs, 加古川市(加古川下流) 17-IV-2010; 15exs, たつの市(揖保川), 25-IX-2010; 9exs, 赤穂市千種川河口, 30-VIII-2009.

<sup>1)</sup> Masato MORI 環境科学大阪 株式会社

平地の河川水際に生息し、一般に個体数はきわめて多い。全国に広く分布している。

### 3. ツヤホソチビゴミムシ *Perileptus naraensis* S. Ueno, 1955

【文献記録】猪名川町川床口～宝塚市長谷(川床川, 猪名川)[初宿, 2012].

【標本記録】2exs, 朝来市生野町白口, 27-V-2007; 8exs, 丹波市青垣町(加古川), 2-X-2010; 4exs, 篠山市鏝市ダム, 25-V-2014; 1ex, 夢前町坪, 26-IV-1998; 2exs, 三木市シビレ山, 21-VI-2003; 10exs, 猪名川町杉生, 25-V-2014; 10exs, 西宮市武田尾, 20-IX-2010; 2exs, 宝塚市川下川, 27-IX-2009; 3exs, 洲本市鮎屋川, 3-X-1998.

奈良市春日山が模式産地で、本州、四国、九州に広く分布している。生息環境は本属としてはやや特殊で、低山地から山地にかけての薄暗い溪流や河川の水際に生息し、開放的な環境ではあまり見られない。産地での個体数は比較的多い。前種よりもやや小型で光沢があり、前胸背の形状が異なる。

### 4. オオホソチビゴミムシ *Perileptus laticeps laticeps* S. Ueno, 1955

【文献記録】篠山町[岸田・辻, 1975]; 加美町鳥羽[兵昆, 2001].

本州、四国、九州に分布、模式産地は滋賀県犬上川。ホソチビゴミムシと同様の環境に生息しているが、より少ない。本属では最も大きく、色彩や前胸背の形状は前種に近い。

### ケムネチビゴミムシ属 Genus *Epaphiopsis*

日本には20数種が知られているが、少なからず未記載種が存在する。3亜属に区分されており、兵庫県に産するものは *Pseuepaphius* 亜属に属している。県中央部から以北の低山地・山地の複数箇所で見つかっている。山口県萩市産で記載されたハギチビゴミムシ *E. punctatostrata* (Putzeys, 1877) に近いとされているが未検討である。なお、属和名の「ケムネ」は前胸背に密生する細毛にちなむ名前であるが、*Pseuepaphius* 亜属ではこの細毛を欠いている。

### 5. ケムネチビゴミムシ属 *Epaphiopsis* (*Pseudepaphius*) sp.

【標本記録】1ex, 波賀町堀, 15-IX-1998; 1ex, 宍粟市赤西溪谷, 6-IX-2004; 6exs, 和田山町鉄鉦山, 7-VII-2001; 1ex, 千種町峰越峠, 9-X-1999; 5exs, 一宮町暁晴山, 25-VII-1999; 1ex, 朝来市生野町白口, 15-VI-2007.

低山地から山地にかけての林床窪地など、湿り気のある落葉下や土壌中に生息している。見つけにくい、

産地での個体数は比較的多い。県南部地域や淡路島では見かけたことがなく、おそらく分布していないと思われる。

### チビゴミムシ属 Genus *Trechus*

日本には北日本を中心に15種程度が分布しており、兵庫県ではこのうち広域分布の1種が記録されている。

### 6. ヒラタキイロチビゴミムシ *Trechus (Epaphius) ephippiatus* Bates, 1873

【文献記録】Hiogo[Bates; 1873]; 氷上郡[山本義丸, 1958]; 篠山町[岸田剛二・辻啓介, 1975]; 川西市大和[仲田, 1978]; 豊岡市円山大橋, 出石町内町[高橋匡, 1982]; 宝塚市安倉[宝塚市, 1993]; 淡路島洲本市厚浜, 西宮市甲子園浜[河上康子ほか, 2000]; 淡路島厚浜, 川西市大和, 神戸市東垂水, 甲東園, 西宮市甲子園浜, 川西市笹部[初宿, 2012].

【標本記録】3exs, 城崎町桃島池, 8-VII-1998; 2exs, 豊岡市岩井, 12-X-2011; 2exs, 香美町ハチ北, 26-IV-2004; 3exs, 養父市八鹿町宿南(円山川), 13-VI-2011; 3exs, 上郡町千種川, 10-V-2003; 2exs, 宝塚市大原野, 31-V-1997; 2exs, 神戸市山田町, 7-V-1987; 2exs, 加古川市加古川河口, 3-X-2009; 5exs, 西宮市武田尾, 20-IX-2010; 2exs, 赤穂市有年, 3-XI-2014.

北海道から九州に分布し、湿地や河川周辺に普通に生息する。個体数も多い。

### ナガチビゴミムシ属 Genus *Trechiana*

大きな属で日本には180種程度が記載されているが、さらに多くの未記載種が存在している。兵庫県に分布する記載種は28種で、系統別ではヨシイメクラチビゴミムシ群(ohshimai-group)1種とオニメクラチビゴミムシ群(oni-group)27種に区分される。後者のオニ群はさらにいくつかの系統に分けられ、兵庫県には5系統の分布が明らかになっている。県内のすべての種は、複眼・後翅が退化し、上翅には長い剛毛を具え、洞窟や廃坑を含む地下浅層に生息している。

本属には県内各地で採集された分類未検討な標本が多く存在するが、その一部の分類研究を研究者に委ねているため、ここではその産地情報などの詳細については報告しない。

### 7. ヨシイメクラチビゴミムシ *Trechiana* (s. str.) *ohshimai* S. Ueno, 1961

【文献記録】篠山町丸山の川辺[岸田剛二・辻啓介, 1975].

ヨシイメクラ群のヨシイメクラチビゴミムシ系(ohshimai-complex)に含まれる。このcomplexは琵琶湖を中心とする地域に多くの種類が知られており、西側の境界付近で兵庫県にも分布が及んでいる。体型はやや細型で、上翅剛毛式は基本的に2+2。

本種の模式産地は京都府瑞穂町質志鍾乳洞で、兵庫県では記載者の上野俊一先生同定による上記の記録がある。

8. オノコロメクラチビゴミムシ *Trechiana* (s. str.) *onocoro* S. Ueno, 1983b

【文献記録】淡路島兜山鮎屋川谷 [S. Ueno, 1983b].

【標本記録】10exs, 洲本市鮎屋川, 3-X-1998; 5exs, 洲本市柏原山, 2-XI-2002; 7exs, 三原町諭鶴羽山, 6-XI-1999; 4exs, 三原町成相, 20-IX-1999.

本種はオニメクラ群のサトウメクラチビゴミムシ系 (satoui-complex) に属する。oni-group は中国地方と四国北東部に広く分布し、兵庫県はその分布域の東端に位置し、ohshimai-group と分布を隔てているが一部の地域で混生している。全般にやや太い体型をもち、特にその上翅中央がよく盛り上がり、上翅剛毛式は 0+2 となる特徴をそなえる。本種の属する satoui-complex は四国北東部に分布の中心をもち、その一部が淡路島まで分布している。

本種は淡路島の諭鶴羽山系に広く分布しており、場所によって個体数が多い。onocoro は淡路島の古い名前である「おのころ島」にちなんでいる。

9. フジタメクラチビゴミムシ *Trechiana* (s. str.) *fujitai* S. Ueno, 1969

【文献記録】南光町船越山瑠璃寺 [S. Ueno, 1969]

【標本記録】2exs, 南光町大船山, 19-IX-1999; 2exs, 南光町瑠璃寺, 2-V-2004, 伊藤主計採集。

本種以下 20 番までの 12 種はオニメクラ群のフジタメクラチビゴミムシ系 (fujitai-complex) に属し、前胸背後角の刺毛を欠いている。この complex はおおむね市川 - 円山川以西に分布し、兵庫県が分布中心域である。この地域にはメクラチビの採集に適した環境が多く存在し、今後も新種が発見される可能性が高い。

本種は模式産地の南光町瑠璃寺から背後の大船山山塊に生息しているが個体数は一般に少ない。

10. ワカスギメクラチビゴミムシ *Trechiana* (s. str.) *moritai* S. Ueno, 1985a

【文献記録】波賀町赤西溪谷 (600-750m), 音水溪谷 (680m), 堀 (700m), 坂の谷 (850-1150m) [Ashida, 2005a].

【標本記録】5exs, 波賀町堀, 1-VI-1999; 10exs, 波賀町坂の谷, 24-V-2003; 6exs, 波賀町音水溪谷, 24-V-2003.

模式産地は岡山県西粟倉村若杉峠。分布域は比較的広く、氷ノ山の南部から西部にかけて見られる。比較的大型の個体が多く、氷ノ山周辺の産地では個体数が多い。

11. タタラギメクラチビゴミムシ *Trechiana* (s. str.) *latilobatus* Ashida, 2003

【文献記録】朝来町多々良木, 生野町黒川 (550m), 銀山湖 (400m) [Ashida, 2003]

【標本記録】2exs, 朝来町多々良木, 3-V-2001, 伊藤主計採集。

12. アサゴメクラチビゴミムシ *Trechiana* (s. str.) *asagonis* Ashida, 2005b

【文献記録】朝来町伊由峠, 丹波市青垣町粟鹿山 [Ashida, 2005b]

【標本記録】1ex, 朝来町伊由峠, 23-IX-2006, 伊藤主計採集。

13. ヤマサキメクラチビゴミムシ *Trechiana* (s. str.) *saitoi* Ashida, 2005a

【文献記録】山崎町上ノ上 (480-620m) [Ashida, 2005a]

【標本記録】3exs, 山崎町上ノ上, 20-VIII-1999, 伊藤主計採集。

14. アジャリメクラチビゴミムシ *Trechiana* (s. str.) *ajari* Ashida, 2005a

【文献記録】一宮町阿舍利 (600-700m), 一宮町藤無山 [Ashida, 2005a]

【標本記録】2exs, 一宮町阿舍利溪谷, 4-V-2001, 相馬明直採集。

15. オオヤメクラチビゴミムシ *Trechiana* (s. str.) *oja* Ashida, 2003

【文献記録】大屋町明延富士野谷 (340m), 大屋町天滝溪谷 (400-500m), 大屋町横行溪谷 (450-550m) [Ashida, 2003]; 一宮町富士野峠 (550m) [Ashida, 2005a]

【標本記録】1ex, 大屋町明延, 27-VII-2003; 1ex, 大屋町横行林道, 27-VII-2003, 伊藤主計採集。

16. キンショウメクラチビゴミムシ *Trechiana* (s. str.) *spinulifer* S. Ueno, 1985a

【文献記録】関宮町中瀬キンショウ廃坑 [S. Ueno, 1985a]

【標本記録】2exs, 関宮町中瀬, 3-V-2004, 伊藤主計採集。

17. マチオクメクラチビゴミムシ *Trechiana* (s. str.) *cuspidatus* S. Ueno, 1985a

【文献記録】養父町建屋の奥山マチオク廃坑 [S. Ueno, 1985a]; 朝来町笠杉峠 (400m), 朝来町佐中 (300m) [Ashida, 2003]

【標本記録】6exs, 養父町建屋奥山, 28-V-2000.

18. トノミネメクラチビゴミムシ *Trechiana* (s. str.) *crassilobatus* S. Ueno, 1977

【文献記録】大河内町川上抗 [S. Ueno, 1977]; 夢前町雪彦山 (400m), 夢前町 Kobata 菅生川溪谷 (250m) [S. Ueno, 1985]; 大河内町 Kamioda, 一宮町坂ノ辻峠 (750m), 波賀町谷 (300m), 山崎町三谷 (200m) [Ashida, 2005a]

【標本記録】2exs, 一宮町坂ノ辻峠, 18-X-1998; 14exs, 一宮町 暁晴山, 25-VII-1999; 4exs, 大河内町千町ヶ峰, 27-VIII-2005; 1ex, 夢前町雪彦山, 11-IV-1998.

分布は比較的広く, 山腹を流れる細流の落葉溜まりなどの湿った堆積物の中から得られることもある. 産地によっては個体数が多い.

19. コウツキメクラチビゴミムシ *Trechiana* (s. str.) *carinatus* S. Ueno et M. Mori, 2000

【文献記録】上月町上秋里, 相生市三濃山 [S. UENO et M. MORI, 2000]; 新宮町栗町, 三日月町下本郷, 湯浅口, 三日月東, 能谷, Chaya, Iwaya-valley [Ashida, 2005a]

【標本記録】3exs, 上月町上秋里, 19-IX-1999; 3exs, 相生市三濃山, 30-III-2002.

佐用川支流の秋里川附近の崩落地で地下浅層から得られたが, 個体数は少なかった. その後は相生市や三日月町など比較的広い範囲で記録されている.

20. ヒウラメクラチビゴミムシ *Trechiana* (s. str.) *hiurai* S. Ueno, 1985a

【文献記録】氷ノ山北西麓小代谷秋岡廃抗 [S. Ueno, 1985a]

21. ミヨウケンメクラチビゴミムシ *Trechiana* (s. str.) *okudai* Ashida, 2007

【文献記録】香美町村岡区妙見山 (550-700m), 豊岡市日高町・養父市八鹿町妙見山, 香美町村岡区ハチ北 (750m)・鉢伏山 (1050m) [Ashida, 2007]

【標本記録】1ex, 豊岡市日高町金山峠~妙見山, 30-V-2009, 山下俊一採集; 1ex, 豊岡市日高町蘇武林道, 14-IX-2013.

本種と次種は, オニメクラ群のヤマジメクラチビゴミムシ系 (yamajii-complex) に属し, 遠く岡山県上斎原村に分布するヤマジメクラチビゴミムシ *T. yamajii* S. Ueno, 2000 との類縁が深いとされている.

22. ムラオカメクラチビゴミムシ *Trechiana* (s. str.) *muraokaensis* Ashida, 2007

【文献記録】香美町村岡区長瀬, 新温泉町久斗山本谷 (350m) [Ashida, 2007]

【標本記録】1ex, 村岡町長瀬, 18-VII-2004, 伊藤主計採集.

23. イチジマメクラチビゴミムシ *Trechiana* (s. str.) *silicicola* S. Ueno, 1981

【文献記録】市島町乙河内抗 [S. Ueno, 1981]

【標本記録】2exs, 市島町乙河内, 9-V-1999; 市島町上鴨阪, 9-V-1999.

本種以降 27 番までの 5 種は, オニメクラ群のコスゲメクラチビゴミムシ系 (kosugei-complex) に属する. この complex は京都府と兵庫県にまたがって分布し, 一部

が大阪府南部から知られている. 兵庫県ではおおむね市川-円山川以東に分布している. 本種はあまり個体数が多くないようである.

24. ムコガワメクラチビゴミムシ *Trechiana* (s. str.) *expectatus* S. Ueno, 1983a

【文献記録】西宮市武田尾の廃抗 [S. Ueno, 1983a]

【標本記録】8exs, 西宮市武田尾温泉付近, 18-X-1997; 7exs, 神戸市道場生野, 10-VII-2004.

本種の発見は古く, 1944 年の洪水時に武庫川下流で得られた 1 ♀だけが知られていたが, その後の武庫川上流域での長い探索の結果, じつに 37 年後の 1981 年になって武田尾周辺の廃抗で再発見された歴史がある. 本種の種小名にはそのような意味が込められている. 武田尾や神戸市道場では武庫川に沿った枯沢斜面の地下浅層, 支流の岸辺付近で得られている.

25. テンガンメクラチビゴミムシ *Trechiana* (s. str.) *yoshiakii* S. Ueno, 1978

【文献記録】西紀町上篠見天岩抗 [S. Ueno, 1978]; 篠山町鑿市自然公園 [芦田, 1999]; 多紀町篠見 Shinden-Mine [初宿, 2012]

【標本記録】4exs, 篠山市鑿市ダム奥, 27-VI-1998.

鑿市ダムの源流部附近の地下浅層で得られている.

26. イクノメクラチビゴミムシ *Trechiana* (s. str.) *ikunoensis* Ashida, 2005c

【文献記録】生野町上生野, 丹波市青垣町大名草 (250-320m), 丹波市山南町西谷 (280-310m) [Ashida, 2005c]

【標本記録】1ex, 青垣町粟鹿山, 13-VII-2001; 1ex, 生野町銀山湖附近, 4-V-2001, 伊藤主計採集.

27. カンザキメクラチビゴミムシ *Trechiana* (s. str.) *obliquus* S. Ueno, 1985b

【文献記録】神崎町越知大畑 [S. Ueno, 1985b]; 生野町白口, 丹波市青垣町粟鹿山 [Ashida, 2005c]

【標本記録】8exs, 朝来市生野町白口, 23-VII-2007; 1ex, 神崎町大畑飯森山, 18-X-1998.

28. タケノメクラチビゴミムシ *Trechiana* (s. str.) *kameyamai* Ashida, 2002a

【文献記録】竹野町銅山, 竹野町森本 [Ashida, 2002a]

【標本記録】4exs, 竹野町森本, 13-VIII-2002.

本種以降 34 番までの 7 種は, オニメクラ群のノトメクラチビゴミムシ系 (notoi-complex) に属する. この complex は兵庫県但馬地方 (一部は京都府) を中心に 7 種が知られ, やや離れた大阪府北部から兵庫県南部に分布する 1 種が知られている. 従来は kosugei-complex

に含められていたが、特異な♂交尾器の構造や体の外形の特徴により独立の系列の形成が認められた。種ごとに大きく特徴的な交尾片をそなえており、今後も新種発見の可能性が高い。

本種は竹野町森本の比較的大きな谷部の浅い地中から得られた。

29. イトイメクラチビゴミムシ *Trechiana* (s. str.) *soumai* Ashida, 2002a

【文献記録】和田山町糸井溪谷, 出石町上村和屋 [Ashida, 2002a]

【標本記録】8exs, 和田山町鉄鉦山, 7-VII-2001.

糸井溪谷から鉄鉦山に続く沢筋の地下浅層より得られた。この附近には生息に適したポイントが多い。

30. キノサキメクラチビゴミムシ *Trechiana* (s. str.) *akirakitayamai* Ashida, 2002b

【文献記録】城崎町来日岳 (567m) [Ashida, 2002b]

【標本記録】5exs, 城崎町来日岳, 12-VII-1999.

円山川支流の来日川源流部の岩盤に堆積した礫層から得られた。地下浅層の少ない地域ではこのような場所で見られることもある。本種は41歳の若さで逝去された知人の昆虫研究者、故・北山昭氏にちなんで命名された。

31. カンナベメクラチビゴミムシ *Trechiana* (s. str.) *biuncinatus* Ashida, 2002b

【文献記録】日高町白菅山 (550m) [Ashida, 2002b]

32. アマダニメクラチビゴミムシ *Trechiana* (s. str.) *falcatus* Ashida, 2002b

【文献記録】但東町天谷峠 [Ashida, 2002b]

【標本記録】1ex, 但東町天谷峠, 18-V-2003, 山下俊一採集。

33. サントウメクラチビゴミムシ *Trechiana* (s. str.) *siva* Ashida, 2004

【文献記録】山東町遠坂峠柴 [Ashida, 2004]

【標本記録】2exs, 山東町遠坂峠, 18-VII-2004, 伊藤主計採集。

34. ノトメクラチビゴミムシ *Trechiana* (s. str.) *notoi* S. Ueno, 1981

【標本記録】27exs, 神戸市北区有野町有野, 14-VI-1998.

模式産地は大阪府能勢町山田日野の小規模な廃坑で、北に約5km程度離れた能勢町はらがたわトンネル付近からも得られている。神戸市有野町の生息地は模式産地から南西に直線距離で約25kmも離れているが、*notoi* 原記載の形態の特徴とよく一致し、また模式産地で得られたサンプルと大きな違いが見出せなかった。とりあえず本種として報告しておく。

アトスジチビゴミムシ属 Genus *Trechoblemus*

日本では2種が知られ、広域分布の1種が県内でも記録されている。河川周辺に生息するが個体数は多くない。

35. アトスジチビゴミムシ *Trechoblemus postilenatus* (Bates, 1873)

【文献記録】西宮市御前浜 [河上康子ほか, 2000]; 宝塚市塩尾寺 [初宿, 2012]

【標本記録】1ex, 加古川市加古川河口 (洪水後), 4-IX-2011; 1ex, 小野市久茂町 (加古川), 10-VI-2012.

フタボシチビゴミムシ属 Genus *Blemus*

日本では2種が知られ、県内では1種が分布している。この種も河川周辺に生息するが個体数は多くない。

36. フタボシチビゴミムシ *Blemus discus* (Fabricius, 1792)

【文献記録】宝塚市美座 [宝塚市, 1993]

【標本記録】4exs, 養父市八鹿町円山川, 18-VI-2011.

ノコメクラチビゴミムシ属 Genus *Stygiotrechus*

日本では22種が記載されているが、未記載種もある。県内から記録された種類はないが、各地で採集された未検討の標本がある。複眼は完全に退化し、地下浅層から得られている。*Trechiana* 属よりも水分の少なく隙間の狭い層に生息し、埋没した石の表面で得られることが多い。

37. ノコメクラチビゴミムシ属 *Stygiotrechus* sp.

【文献記録】宝塚市, 神戸市北区, 姫路市, 相生市~新宮町から上郡町, 淡路島洲本市, 三原町 [斎藤ほか; 2001].

【標本記録】1ex, 神戸市有野町, 3-V-2001; 5exs, 三原町諭鶴羽山, 6-XI-1999.

モリモトメクラチビゴミムシ群 (*morimotoi* group) に属するもので、分類研究がなされていない。

兵庫県で記録・採集された37種のチビゴミムシ亜科を整理した。このうちナガチビゴミムシ属では県内を模式産地とする多くの種類が記載され、さらに2種群、6系統が県内で分布を接し、または混在するなど、兵庫県は生物地理学的にも非常に重要で興味深い地域であることがわかる。この分布状況のベースは、30年も前に上野俊一先生により報告されたものであり、その後芦田久さんによってより詳細に明らかになったが、まだ未検討な標本や未記載種も多く存在している。

かつては鍾乳洞だけに生息すると思われていた地下性生物が、じつは地下空間でつながった地下浅層 (ちかざんそう) にもひろく分布・生息することがわかったのは、

比較的最近のことで、この発見によって洞窟や廃坑の無い地域でも調査・採集することが可能となった。メクラチビゴミ類の調査・採集には、この地下浅層を探し当てる経験が少し必要であるが、体力や気力も重要な要素となる。これからの若い人たちの頑張りを期待したい。

このほか、県下で今後新たに追加できる可能性のある種類として、イソチビゴミムシ *Thalassoduvallius masidai* S. Ueno, 1956 がある。この種は島根県浜田市を原産地とするもので、近畿地方とその周辺では京都府冠島、京都府丹後半島先端部、和歌山県友ヶ島、島根県出雲市からの記録がある。海岸の満潮線近くに堆積した転石浜底部で陸側から淡水が常に供給されるような特殊な環境に生息しており、県北部の日本海側海岸部には生息可能性が高いが、生息地発見はなかなか困難である。この発見についても期待している。

最後に、標本や情報を提供していただいた伊藤主計さん(東大阪市)、山下俊一さん(茨木市)にお礼を申し上げる。

#### 参考文献

- 芦田久,1999. テンガンメクラチビゴミムシの採集例, 月刊むし ,(345):40-41.
- 芦田久,2004. 近畿地方のノコメメクラチビゴミムシ属, 昆虫と自然,39(1):33-37.
- Ashida, H., 2002a. Two new Anophthalmic species of the group of *Trechiana oni* (Coleoptera,Trechinae) from the Tajima area ,central Japan. Elytra, tokyo, 30(1): 49-56.
- Ashida, H., 2002b. A Distinct species-complex of *Trechiana notoi* (Coleoptera,Trechinae) Mainly distributed in the Tajima area,central Japan. Elytra, tokyo, 30(2): 385-397.
- Ashida, H., 2003. The complex of *Trechiana fujitai* (Coleoptera, Trechinae) from Hyogo prefecture,west Japan(I). Elytra, tokyo, 31(2): 431-438.
- Ashida,H.,2004.An additional species belonging to the *Trechiana notoi* complex (Coleoptera,Trechinae) from the southern part of the Tajima area in Hyogo prefecture,central Japan. Elytra, tokyo, 32(2):259-263.
- Ashida, H., 2005a. The complex of *Trechiana fujitai* (Coleoptera,Trechinae) from Hyogo prefecture,west Japan(II). Elytra, tokyo, 33(1): 353-361.
- Ashida, H., 2005b. The complex of *Trechiana fujitai* (Coleoptera,Trechinae) from Hyogo prefecture, west Japan(III). Ent. Rev. Japan, 60(1): 17-21.
- Ashida, H., 2005c. The complex of *Trechiana kosugei* (Coleoptera,Trechinae) from Hyogo prefecture, west Japan(III). Elytra, tokyo, 33(2): 659-664.
- Ashida, H., 2007. Occurrence of the *Trechiana yamajii* complex of the group *Trechiana oni* (Coleoptera, Trechinae) in the northwestern corner of Hyogo prefecture, west Japan(III). J. speleol. Soc.Japan, 32: 1-8.
- 河上康子・稲畑憲昭, 2000. 大阪湾沿岸地域における海浜・河口汽水域の地表性甲虫調査. 関西甲虫談話会資料第 16 号 :29pp.
- 岸田剛二・辻啓介, 1975. 兵庫県多紀郡篠山町附近の歩行虫. きべりはむし, 4(1/2):16-25.
- 兵庫昆虫同好会事務局, 2001. 多可郡の甲虫相. きべりはむし, 29(1):10-27.
- 森正人, 2010. ウミホソチビゴミムシの兵庫県における記録と生態的知見, 月刊むし, (470):46-49.
- 森正人, 2012. 兵庫県 RDB 改訂に関わる情報(甲虫), きべりはむし, 35(1):21-30.
- 仲田元亮, 1978. 能勢の昆虫.
- 斎藤琢巳・北山健司・芦田久, 2001. 近畿地方のチビゴミムシ相, 昆虫と自然, 36(1):7-11.
- 初宿成彦, 2012. 大阪市立自然史博物館所蔵甲虫類目録(2). 大阪市立自然史博物館収蔵資料目録, (44):5-170.
- 高橋匡, 1982. 但馬地方昆虫目録(予報第7報). IRATSUME, 6:57-76.
- 宝塚市, 1993. 宝塚の昆虫 II.
- 山本義丸, 1958. 兵庫県氷上郡昆虫目録, 氷上の自然第3集. 兵庫県立柏原高等学校生物教室.
- Ueno, S., 1955. Studies on the Japanese Trechinae (III)(Coleoptera, Harpalidae). Publ.Seto Mar.Biol.Lab., IV(2-3):179-193.
- Ueno, S., 1969. A New Endogean *Trechiana* (Coleoptera, Trechinae) from Western Japan. Bull. Natn. Sci. Mus., Tokyo, 12(4):779-782.
- Ueno, S., 1977. A New Anophthalmic *Trechiana* (Coleoptera, Trechinae) from Copper Mines in Western honshu Japan. Bull. Natn. Sci.Mus., Tokyo, Ser. A, 3(3): 157-161.
- Ueno,S.,1978.Two New Anophthalmic *Trechiana* (Coleoptera,Trechinae) found in Non-calcareous Areas of Central Japan. Bull.Natn.Sci.Mus.,Tokyo,Ser. A,4(4):293-301.
- Ueno, S., 1981. Two New Anophthalmic *Trechiana* (Coleoptera,Trechinae) found in Mine Adits of Central Japan. Bull. Natn. Sci. Mus., Tokyo, Ser.A, 7(2): 79-85.
- Ueno, S., 1983. A New *Trechiana* (Coleoptera,Trechinae) rediscovered after Thirty-sevsn Years. Nat. Hist., 56 (3): 246-250.

Ueno, S., 1983. The Faunal Affinity of the Island of Awaji-shima as Viewed from Trechine Beetles. Nat. Hist., 56 (4): 351-357.

Ueno, S., 1985a. The Group of *Trechiana oni* (Coleoptera, Trechinae)-Its Distribution and Differentiation-. Mem. Natn. Sci. Mus., tokyo, (18): 163-198.

Ueno, S., 1985b. Additions to the Group of *Trechiana oni* (Coleoptera, Trechinae). J. speled. Soc. Japan, 10:1-7.

Ueno, S., et M. Mori, 2000. A New upper hypogean *Trechiana* (Coleoptera, Trechinae) from near the southwestern corner of Hyogo prefecture, west Japan. Elytra, tokyo, 28 (1): 31-37.



1. ウミホソチビゴミムシ



2. ホソチビゴミムシ



3. ツヤホソチビゴミムシ



4. オオホソチビゴミムシ



5. ケムネチビゴミムシ属



6. ヒラタキイロチビ  
ゴミムシ



7. ヨシイメクラチビ  
ゴミムシ



8. オノコロメクラチビ  
ゴミムシ



9. フジタメクラチビ  
ゴミムシ



10. ワカスギメクラチビ  
ゴミムシ



11. タタラギメクラチビ  
ゴミムシ  
(paratype)



12. アサゴメクラチビ  
ゴミムシ



13. ヤマサキメクラチビ  
ゴミムシ  
(paratype)



14. アジャリメクラチビ  
ゴミムシ  
(paratype)



15. オオヤメクラチビ  
ゴミムシ  
(paratype)



16. キンショウメクラ  
チビゴミムシ



17. マチオクメクラチビ  
ゴミムシ



18. トノミネメクラチビ  
ゴミムシ



19. コウツキメクラチビ  
ゴミムシ



21. ミョウケンメクラチビ  
ゴミムシ



22. ムラオカメクラチビ  
ゴミムシ



23. イチジマメクラチビ  
ゴミムシ



24. ムコガワメクラチビ  
ゴミムシ



25. テンガンメクラチビ  
ゴミムシ



26. イクノメクラチビ  
ゴミムシ  
(paratype)





27. カンザキメクラチビ  
ゴミムシ



28. タケノメクラチビ  
ゴミムシ



29. イトイメクラチビ  
ゴミムシ



30. キノサキメクラチビ  
ゴミムシ  
(paratype)



32. アマダニメクラチビ  
ゴミムシ



33. サントウメクラチビ  
ゴミムシ  
(paratype)



34. ノトメクラチビ  
ゴミムシ



35. アトスジチビゴミムシ



36. フタバシチビゴミムシ



37. ノコメクラチビ  
ゴミムシ属